

■寺田寅彦(吉村冬彦) 物理学諸分野で独創的な業績を挙げ、名言'天災は忘れたころにくる'など、名随筆も多数。

てらだとらひこ

大久保暗殺・1878＝

東京府平河町で、高知県土族の陸軍会計監督の長男に生まれる。

明治14年政変1881＝ 3歳：

幼時を父の郷里の高知で過ごし、

国民之友始・1887＝ 9歳：

帝国憲法発布1889＝11歳：

高知県立尋常中学校を経て、

日清戦争始・1894＝16歳：

白馬会・・・1896＝18歳：_第五高等学校に入学、
_在学中に田丸卓郎によって自然科学への眼を開かれる。また、夏目漱石との出会いにより文学への開眼。

Bushidou・・・1899＝21歳：_教室で英語を習い、自宅で俳句を学び、
_東京帝国大学理科大学物理学科に入学すると、その紹介で上京後正岡子規を訪ね、俳句や写生文を{ホトトギス}に寄せるにいたり、やがて高浜虚子らの文章会にも出席。

日比谷公園・1903＝25歳：_卒業して大学院に進み、実験物理学を専攻。

日露戦争終・1905＝27歳：_吉村冬彦の筆名で随筆もよくし、「団栗」以下の小品を発表。

アラビヤ創刊・1908＝30歳：_尺八の音響学的研究で理学博士となり、

伊藤博文暗殺1909＝31歳：東大助教授に就任すると、地球物理学研究のため、ドイツ・イギリスへ留学。

大逆事件判決1911＝33歳：帰国。

明治天皇没・1912＝34歳：

大正政変・・・1913＝35歳：_「Umi no Butsurigaku」(ローマ字理学叢書)。Nature誌に"ラウエ斑点の研究"掲載。

第一次大戦始1914＝36歳：

民本主義・・・1916＝38歳：_教授になる。X線による結晶構造解析(ラウエ斑点)の開拓的な研究は著名で、

ロシア革命・1917＝39歳：_学士院恩賜賞受賞。

原敬首相暗殺1921＝43歳：_東京帝大航空研究所所員、

関東大震災・1923＝45歳：「冬彦集」。_自然と人事への哀愁を帯びた観照を端正な文章に刻んだ諸作の収められた「薮柑子集」。

護憲三派圧勝1924＝46歳：_理化学研究所所員、

円本時代始・1926＝48歳：_東京帝大地震研究所所員となるなどし、各分野に独創的な業績をのこす。

金融恐慌・・・1927＝49歳：A. ウェゲナーの大陸移動説をとり入れた日本海形成論を唱える。

海軍軍縮条約1930＝52歳：_割れ目の物理学を開始し、ガラス板の破壊実験を行うとともに、

満州事変・・・1931＝53歳：

_その発想を生命にまで広げ「割れ目と生命」の論文を書いた。

五一五事件・1932＝54歳：「万華鏡」、

国際連盟脱退1933＝55歳：「蒸発皿」、

芥川直木賞始1935＝57歳：_転移性骨腫瘍(癌)で_没した。

没後「橡の実」刊行。"天災は忘れたころにくる"という彼のことは、今日なお示唆に富む。